

政治・国際本科生に
併願対策を
PLUS!

都道府県庁や政令市の 併願に対応

地方上級
併願Type

併願先として人気の、県庁や市役所の併願用カリ
キュラムをプラスした本科生です。追加学習が必
要な科目を効率よくカバーできます。

地方上級併願対策

政治・国際本科生用

全31回

経済学

2回

社会学

5回

民法

2回

社会政策

5回

刑法

5回

経営学

5回

労働法

4回

論文対策

3回



併願Type本科生の詳細はP38をご覧ください。

全215回

一次試験（択一）対策

二次試験（論述）対策

公開模試

直前対策

学習指針を
レクチャー

出題範囲が広い科目を
効率良くポイント学習

専門科目を確実にマスター

論文作成の
基礎力を養成

専門記述の
基本を理解

“差がつく”情報をインプット

教養択一講義48回

数的処理 12回
(判断推理4回・図形2回・
数的推理4回・資料解釈2回)
文章理解 2回
(現代文1回・英文1回)
社会科学 6回
(法律1回・経済1回・政治3回・社会1回)

自然科学 10回
(数学・物理・化学・生物・地学 各2回)

人文科学 15回
(世界史5回・日本史4回・地理3回・
思想2回・文芸1回)

時事 3回

「基礎能力試験」対策用の講義です。出題範囲が広い教養科目を“本試験での得点力”を最優先にした講義で攻略します。本試験で不要な分野は大胆にカットし、頻出分野だけを効率的に学習できます。

専門択一講義109回

憲法 13回
民法 12回
行政法 16回
国際法 12回
経済学 19回

財政学 5回
経済政策 2回
政治学 13回
国際関係 8回
行政学 9回

政治・国際区分で出題される専門科目を短期でマスターするための講座です。択一試験に必要な知識を網羅的に学べるだけでなく、二次の専門記述試験まで見据えた講義を展開します。

論文対策2回

政策論文対策 NEW 2回

論文試験では政策の企画立案に必要な総合的な判断力と説明能力が検証されます。講義では政策課題とその論点を解説し、論理的な答案を作成するための基本知識と評価のポイントを学びます。

専門記述対策20回

憲法 4回
国際法 4回
政治学 3回
国際関係 3回
行政学 3回
公共政策 3回

専門記述試験では、専門科目の知識を用いて、必要な論点を的確に説明する力が必要になります。講義では、科目ごとに不可欠なキーワードや論点を解説し、論理的な答案にまとめるためのテクニックをマスターします。

受験無料

実力の総仕上げ

公開模試6回

教養力試し模試 2回
択一模試 2回
論文模試 2回

学習の進度に合わせて多彩な模試をご用意。ペースメーカーとして、また直前期の実力総点検用として活用してください。

成績判定付き

演習でゆるぎない実力を養成

教養択一答練6回

数的処理 3回
社会科学 1回

自然科学 1回
人文科学 1回

基礎能力試験で出題が予想される問題だけを集約した的中率の高い答練です。答練・解説講義のサイクルで効率良く重要論点を攻略します。科目別・クラス別の詳しい成績判定付きですので、弱点の分析と克服にも効果を発揮します。

成績判定付き

演習でゆるぎない実力を養成

専門択一答練18回

憲法 3回
民法 3回
行政法 4回
国際法 2回

経済学・財政学 2回
政治学 2回
国際関係 1回
行政学 1回

講義で身に付けた知識を得点力に変えるための答練です。答練と解説講義の組み合わせで、専門科目の重要論点を攻略します。科目別・クラス別の詳しい成績判定付きですので、弱点の分析と克服にも効果を発揮します。

答案添削付き

添削指導で実力アップ

答案作成

講義で論文作成の基礎を身に付けたあとは、付属の問題集の予想問題をもとに、実際に答案を書きます。答案は講師が添削しますので、実践を重ねて実力アップを図ってください。

答案添削付き

答練と添削指導で実力アップ

実践答練 4回<本試験形式>

★「実践答練」以外にも、テキストにあるテーマで答案を書き、添削指導を受けることができます。

講義で専門記述の基本を理解したあとは、4時間3科目の本試験形式で実施する実践答練で実際に答案を書きます。答案は講師が添削しますので、実践を重ねて実力を完成してください。

Input
講義

講義と答練
を組み合わせて
ムリなくムダなく実力アップ

Output
答練

模擬面接付き

本番さながらの面接指導

面接官庁訪問対策 実践編 3回+α

模擬面接 1回+α
模擬集団討論 1回+α
模擬政策課題討議 NEW 1回+α

模擬面接における想定質問は過去の面接復元情報に基づき、実際に問われた質問が再現されていますので、本番さながらの経験を積むことが可能です。また集団討論や政策課題討議対策用の模擬討論も実施しますので、二次対策は万全です。

院 は院卒者試験「行政区分」の対策です。